

農業

令和3年11月号
会誌 No. 1683



目次

巻頭言

創立140年を迎えて……………吉田 岳志 3

論壇

農業・農村での女性の活躍推進を考える……………安倍 澄子 4

140年を迎えて

公益社団法人大日本農会創立140年を迎えて……………高野 克己 6

—大日本農会と東京農業大学—

農業行政・農業史にみる大日本農会……………染 英昭 8

—明治の草創期を中心に—

農事功績者表彰とその今日的意味……………三輪睿太郎 14

コロナ禍と日本の農村・農業……………林 良博 17

表彰農家訪問

酪農の規模拡大をベースに、肉用牛繁殖・肥育と……………八巻 正 24

6次産業化に取り組む

—岩手県久慈市・洋野町に 田村牧場・久慈平岳牧場 田村英寛さん
美紀子さんを訪ねて—

食を楽しむ

田植えとかき氷……………萩原 史雄 32

研究の最前線

中山間地域での高食味米生産における篤農技術……………八木 洋憲 33

—ポイントは丁寧な水管理にあり—

農業・農村の現場から

人々に喜びを感じてもらえるセイヨウナシ・ブドウづくり……松本 辰也 41
—新潟県三条市の渡辺果樹園—

世界の農業は今

農産物輸出大国オーストラリア……………新海 宏美 47
—競争力強化と水・労働力不足への対応—

私の経営と志

農家を志して神奈川から大分へ……………坂田 章太 53
—三方よしの農業経営を目指して—

統計情報

2021（令和3）年産ダイズ，アズキ，インゲンおよびラッカセイ…………… 55
（乾燥子実）の作付面積

農政情報

…………… 56

編集部から…………… 56

令和3年度（第60回）農林水産祭天皇杯等受賞者…………… 57

大日本農会だより…………… 58

会誌「農業」に関するアンケート

表紙写真説明

日本一の輪菊栽培（愛知県田原市）

愛知県田原市の輪菊栽培は1936年頃始まり、48年に電照を利用した抑制栽培、いわゆる「電照菊」が導入されたことで本格化しました。

1968年の豊川用水開通に伴い全国有数の農業都市として発展を遂げ、キャベツ、洋菜、メロン、鉢物、洋花とさまざまな青果・花きが栽培されるようになった現在においても、輪菊は同市の代表的な農産物となっています。

JA 愛知みなみの輪菊部会では部会員676名が所属し、年間約2億本を出荷、全国シェアは30%に上ります（2020年度）。名実ともに日本一の生産地であり、産地の責任として安定出荷と品質に誇りを持ち、全国へ出荷しています。

仏花としてのイメージの強い輪菊は、近年の葬儀の簡素化、さらにはコロナ禍による自粛・縮小化の影響を受け、葬儀関連の需要が低迷していますが、ブライダルなどのイベントや、ご家庭でも飾って頂けるような輪菊の清楚で気高い雰囲気を生かした新たな魅力を提案・発信しています。

（愛知みなみ農業協同組合総合企画部組合員課 小久保 智大）